

◀01 キッチン“お手伝いのしやすい環境”を意識しよう

キッチンには、リビングにいる家族の様子を見ながら料理や後片付けをできるスタイルにする
と、『一人で黙々と家事をこなす』ということもなく楽しい時間となるでしょう。また、家事をして
いる様子が家族からも見えると、自然と手伝いをする習慣も付くかもしれません。

ただし、キッチンが狭いと手伝いもしづらくなります。キッチンの間取りを考えると、『必要
な物をすぐに取り出せる』『全ての物をすっきりと収納できる』などの機能性ももちろん大切ですが、
それと同様に『キッチンに2~3人が同時に立っても窮屈ではない広さ』や『洗い物をする・
拭く・片付ける』の流れを複数人で同時にできる動線なども意識すると、よりよいでしょう。



家族が集まるリビング&ダイニング

LIVING ROOM & DINING ROOM

キッチンは料理をする場所、ダイニングは食事をする場所、
リビングは食後にくつろぐ場所。そんな固定概念にとらわれず、
家族の会話があふれる家作りを考えてみませんか。

◀02 リビング&ダイニングの家具は家族が集いやすいものを

子どもがまだ小さなうちは、家族と一緒に空間にいるのが当たり前です。子供が成長
するにつれ、個々のプライバシーを守ることも大切ですが、食事の時間や休日などは家族
がリビングやダイニングに集まり、ゆったりと会話をする時間を持ちたいものですね。

リビングとダイニングを分けて、それぞれに家具を置くだけの広さがある家の場合、
それぞれの場所で過ごす時間を楽しめますが、もしそれほど広さが無いという場合は、
1つの大きなテーブルを用意して、そこで子どもが宿題をしたり、その日にあったことを家
族で談笑したり、食事やお茶を楽しむなどの時間を持つことができます。形式にとらわれ
るのではなく、『最も家族が集まりやすい家具の配置』を意識してみたいかがでしょう。

◀03 何でもできる“フリースペース”を作ってみよう

前述のように、リビングとダイニング併用の大きなテーブルを置くほかに、何も置かない
“フリースペース”もあるとよいでしょう。例えば親の趣味を子どもと一緒に楽しんだり、子
どもが友達を連れてきて一緒に遊べる空間があるのもよいでしょう。

子どもが成長して自室で過ごす時間が多くなってからは、例えばご近所の人や親の
友達を招いて食事会をしたり、趣味の集まりを持つなどの時間を楽しむこともできるで
しょう。この先何十年も住むことを考え、子どもが幼い時期から独立後まで、どのように
家で過ごしたいかを具体的にイメージすることで、より心地よく笑顔の絶えない家作り
ができるでしょう。

